

会津医療センター ここにちは!

■ 1 ■

棟方 充 66

(副センター長兼付属病院長)



福島医大会津医療センターは五月で開設五年目を迎えた。現場では先端の医療や研究が行われている。奔走する医師、看護師、技師らが医療センターの姿を紹介する。次回から毎月第四日曜日に掲載する。

病院を福島医大の第二付属病院として整備してもらえないかとの県からの要請を受け、①地域完結型会津医療圏の整備②専門領域に特化した高度先進医療の提供③福島医大「会津キャンパス」としての研究・教育機能④県の財政負担の半減—を目標を迎えた医療センターの充実ぶりに驚いていきます。

医療センターでは昨年 から呼吸器外科を設置し、肺がんなどへの対応も可能となりました。肺の病気でお悩みの方、どうぞお気軽にご相談ください。

このコラムでは、今、会津医療センターで行われている最新かつ最先端

開設5年目さらに充実

こんにちは! 福島医

大会津医療センターの棟方です。本年四月、付属病院長として着任しました。

医療センターは、県立会津総合病院と県立喜多方病院を併せた会津統合

指して設立されました。

私は平成二十二年から二十四年までの二年間、会津医療センター準備室長として、その計画・設計から人材確保までをお世話させていただきました。県内外から多くの優

なお、私は臨床医として四十年ほど臨床現場で働いてきました。専門

は呼吸器内科で感染症・呼吸器内科の一員として呼吸器疾患全般の診断・治療に携わっています。

の医療、緩和医療、リハビリテーション、訪問看護などの特徴ある取り組みを、第一線の医師・看護師・技師に登場してもらい、分かりやすく紹介してもらおうと考えています。

ます。